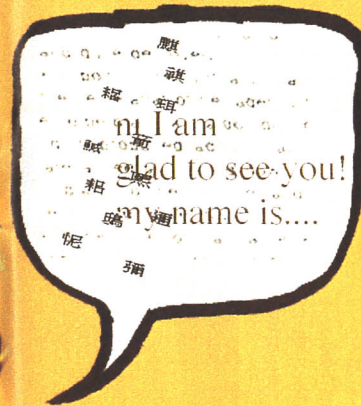


外国語で考えるクセをつけている人や、言葉の仕組みを数式のように解く人。語彙を増やすため見知らぬ他人を「活用」する人もいる。マルチリンガルが複数の言語を覚えるうちに編み出したコツは実にユニークで実用的。モノリンガルの英語上達にも役立つにちがいない。

ロンドン在住のハンナ・トンブソンはチャレンジ精神が旺盛だ。49歳の今、外国語の辞典を作るという大仕事に取り組んでいる。英語とベンガル語の辞典なのだが、どちらも彼女の母語ではない。トンブソンは英語とベンガル語をネイティブ並みに話すドイツ人。英語はイギリス人の夫と暮らすうちに磨かれ、ベンガル語は90年代に夫の仕事について行ったバンケラデシで身に着けた。3年間滞

に話せるようになったという。今は、大学でベンガル語の講師をしている。そんな彼女の目標は、耳にしたすべての外国語を識別すること。そのためには、見ず知らずの人を質問攻めにするのもいとわない。「何語かわからない言葉で話している人を見かけると、気になって仕方ない。いったい何語ですか？と声をかけてしまおう」ヨーロッパでは、トンブソンのように複数の言語を操るマルチ



The Multilingual Edge

マルチリンガル 英会話入門

外国語 今からだって遅くはない！
分析力やコミュニケーション力など
「大人の武器」を最大限に生かせば
英語力もこんなにアップする



マルチな人のオモシロ学習法

数カ国語を身に着けた人は、自分なりの勉強法を大切にしている。たとえば――

書く

鈴木義嗣 (29歳、ホテル代理店の営業)

●使える外国語：英語、フランス語
外国語で毎日、日記をつける。大学時代にフランスへ留学したときは覚えての言い回しを意識的に使い、語学教師に添削してもらった。外国のホテルで働いていたときは英語で書き続けた。スベルを調べるため辞書を引いた効果も実感する。

聞く

エルヘナーウィ・ナハラ

(23歳、アラビア語の講師・通訳)
●英語、日本語
外国語の音楽CDをかけ、聞こえたままを紙に書いていく。日本語を勉強したときは山崎まさよしやSMAPの曲で練習。日本語の教師に添削してもらい、持ち帰って今度と一緒に歌いながら復習した。現在ドイツ語の曲でも実践中。

権村研一 (72歳、脳神経外科医)

●英語、ドイツ語、ロシア語など
まず語学の教材テープを約3カ月間、徹底的に聴き続ける。毎日2時間、通勤に

使う車の中で聴き、声に出して発音をまねる。「100時間やると各音節が聞き分けられるようになる」。教科書を見て文法を覚えるのはしばらくたった後で。この手法で12カ国語を学んだ。

調べる

宮子佳代子 (33歳、金融系の広報/IR)

●英語、中国語
辞書をフル活用。中高時代の英語の授業では、1回調べた単語にペンで印をつけた。再度引けば「悔しい、なんで覚えていないの」とやる気が出るからだ。中国語の勉強では教材が3冊あったため、3色のペンを使用。同じ単語を引けば、その色の教材に戻って復習した。辞書にない単語も例文と一緒に書き込んだ。

話す

白岩千幸 (40代、証券会社の企画部)

●英語、アラビア語、ドイツ語
英語のニュース番組を見ながらキャスターが言ったとおりに繰り返す。とくに英語が必要な仕事が入ったときには、3日ほど前から30～60分、集中的に行う。

大人は母語の知識と比較しながら
外国語を習得する
その点では子供より
効率的で要領がいい

「専門家キリル・モロゾフ (29) は英語、デンマーク語、フランス語を話す。今は日本語を勉強しているが、主語によって動詞が変化するフランス語のような文法上の複雑さがない点では楽だという。言葉を学ぶコツは「まず言葉の骨組みを見る。品詞を組み立てる順番がわかれば、あとは単語を肉づけしていくだけ」とモロゾフは言う。英語なら「僕は・買う・靴を」という骨格をまず組み立て、「靴を」の前に「高価な」「茶色の」と単語を足していけばいい。

これは、モノリンガルの人々でも実は無意識のうちに行っていること。大人は母語に関する知識と比べながら外国語を習得していくと、関西学院大学言語教育研究センターの山本雅代教授は言う。大人は「日本語と違って、英語は動詞の後に目的語が来る」といった分析力が働く。「そういう意味では、少なくとも出発点は大人のほうが

効率的で要領がいい」
確かに大人は、幼い子供の吸収力にはかない。しかし、外国人と仕事のやりとりをしたり世間話をするという実践の場では、今まで培ってきたコミュニケーション力が有利になる。どんな話の展開なのか、わかっているから。日興コーディアル証券で働く40代の白岩千幸は、高校時代にカトリックの教会などで外国人と話す機会がよくあった。帰宅後「もつとこんな話をすればよかった」と悔やんだりした。「10分以上一緒にいれば突っ込んだ話にもなる。自分がいればどうもなるのが嫌だった」と、彼女は振り返る。

そこで白岩が取った対策は、相手の想定会話をシミュレーションし、紙に書き出して丸暗記すること。それを手取で専攻したアラビア語、アメリカの大学院で学んだときの英語、国連の仕事でウィ



張樺 (チャン・ホア)
(33歳、銀行員)
使える外国語：フランス語、英語

スイスの中国大使館に勤めていたときはフランス語を駆使し、今は北京にあるHSBCでイギリス人上司や同僚相手に英語を操る。「語学カアップ」のため英語本の翻訳も手がける。語気が増え、ネイティブの表現が身につくからと、今はフランス語本の翻訳にも挑戦中

ンガルが増えている。今年発表された欧州委員会の報告書によれば、二つの言語を話すヨーロッパ人は56%、三つ話す人も26%に達した。EU (欧州連合) 拡大で労働者の流れが分散化し、例えば、圏外からも移民が流入。ロンドンでは300ほどの言語が飛び交う。

欧州委員会 (ブリュッセル) で広報担当官を兼任する通訳のイアン・アナセン (49) は10カ国語に通じている。母語のデンマーク語をはじめ、英語、フランス語、イタリア語が堪能。中国語、ドイツ語、スウェーデン語、ノルウェー語、オランダ語、スペイン語も読んだり話したりできる。「大人は、語学は机の前に座って教科書で学ぶものだと思いがちだが」と、アナセンは言う。「靴すかしがらず、子供のように (外国語を聞こえたまま) まねることも大切だ」

自分は英語を身に着けるだけで

想定される会話を
事前に丸ごと覚える

マルチリンガルの強みは、場数を踏んだことで「言葉の仕組み」をよく理解していること。その点は、数学や音楽が得意な人と似ている。「音楽や数学と同様、どんな言語にも特定のルールがある。マルチリンガルは、それを見つけたが早い」と、国際基督教大学 (ICU) のササヌ・クエイ大学教授 (言語学) は言う。

ロシア出身の情報セキュリティ

苦勞しているのに、信じられない。そう思うだろうか？
確かに、トンブソンやアナセンのようなマルチリンガルは、言葉に対する強烈な好奇心が原動力になることが多い。ただ、彼らは口をそろえて「二つ目以降の外国語は覚えるのが楽だった」ともいう。なぜ楽なのか。マルチリンガルが複数の言葉を覚えるうちに身に着けたコツを言えば、英語の上達にも応用できるのかもしれない。

マルチリンガルの多くは、二つ目や三つ目の外国語はある程度、大人になってから習得している。つまり発想を変えれば、大人だからこそ外国語の学習に向いているともいえる。たとえば、子供にはない分析力、状況を察するコミュニケーション力や判断力、人生におけるさまざまな経験もプラスになる。

ーンにいたときのドイツ語すべてで行った。

想定する会話の内容は、家族や仕事、日本の文化や政治経済の問題など。トピック別にレポート用紙1枚ずつくらい準備しておけば、何を聞かれてもうたえることはない。「想定外のことを聞かれたらそれはそれでチャンス」と、白岩は言う。新たに考え直すことで、話の幅も外国語の知識も広がる。外国では、「何も言わないとバカだと思われる。時事問題についても、自分の意見を聞かれるのははわかっていい」。

集中力が高まって 痴呆症も防止する？

英語と日本語を操るエジプト人エルヘナウィ・ナハラ(23)は、東京でアラビア語の通訳や語学講師をしながらドイツ語を勉強中だ。1カ月間の留学でドイツを訪れたときは、混雑しない時間帯をねらってレストランに行き、店員と話した。電車の中で、日本語の本を持っていったドイツ人を見かけたときも声をかけた。外国語を本当の意味で習得するには、いろいろな人が話す言葉に耳を慣らし、語彙を増やす必要があると知っているからだ。

それには、日本語を学んだときの苦い経験がある。カイロ大学で日本語を専攻したナハラは、あるとき「先生以外の日本人が話す日本語がわからない」と気づいた。本語がわからない」と気づいた。大学で唯一の日本人だった教師は生徒のレベルに配慮してわかりやすい口調で話していた。「これで駄目だかと思っ、留学生とか観光客とか、他の日本人とも話しかけ会をつつた。先生とだけ話している」ともうわかるからいい」と思い、それ以上上達しない」と彼女は言う。

そもそも、なぜ大人はこれほど外国語を聴き取ることが苦勞なのか。日本人が「英語が不得意なのは自然な現象」だと、東京大学大学院の酒井邦嘉助教授(言語脳科学)は説明する。「大人の脳は英語を受けつけないことで、逆に日本語が瞬時に理解できるようチューニングされている」

どんな赤ん坊でも、最初はあらゆる言葉のあらゆる音を識別する力が脳にそなわっている。だが成長するにつれ、自分にとって意味のある音(母語)を処理する脳

の神経回路以外は閉じていく。たとえば日本人の場合、母語を適切に処理する脳が完成した後には「異質な音」である英語を聞けば、日本語の音に近づけて処理してしまう。「Ca」なら、「I」の音を「to」の音に交換して「キヤット」と理解すると、酒井は言う。幼いころ複数の言語を習得した子供は、各言語向けに脳がチュー

Trilingual and Beyond

マルチリンガルで 勝ち残る小国の秘密

欧州 3つの公用語が飛び交うルクセンブルク

ルクセンブルク大公国は人口46万人、面積2600平方キロメートルのヨーロッパの小国。でもこの国には、マルチリンガルという強力な武器がある。

ドイツとフランスという大国のはざまで生き延びてきた歴史から、国民は三つの公用語(ルクセンブルク語とドイツ語、フランス語)を流暢に操り、英語にも不自由しない。おかげで、マルチリンガルな人材を求める外国企業が数多く進出している。彼らにとって、状況に応じて言葉を使い替えるのは朝飯前。「電話が鳴ったとき、自分がどの言葉を使えばいいか分からない」と、ヘンリ・チューター研究所のサンドラ・グルーネルは言う。

トは言う。

グルーネルはフランス出身の夫とはフランス語と英語で、近所の人とはルクセンブルク語で話す。新聞記事は主にドイツ語で書かれているが、カルチャー記事と訃報欄はフランス語だ。職場では主にフランス語を使うが、隣の部署はドイツ語、元談を言うときはみな、ルクセンブルク語だ。

混乱しそう？

「複雑にみえても、私たにみえては自然なこと」と、ルクセンブルク大学のドミニク・ポルトンテ教授(言語学)は言う。

ベルギーやスイスのように地域ごとに使用言語が異なる多言語国家と違い、ルクセンブルクでは国民一人ひとりがマルチリンガル。子供たちは小学1年生でドイツ語を、2年生でフランス語を学びはじめ7年生からは英語も習う。

●**「チャンポン」を話す移民も**
歴史の授業はドイツ語で、数学と科学はフランス語で教えられる。「いったん複数の言葉を覚えると、ほかの言葉も簡単に習得できる」と、グルーネルは言う。「その手の活動に脳

が慣れるから」

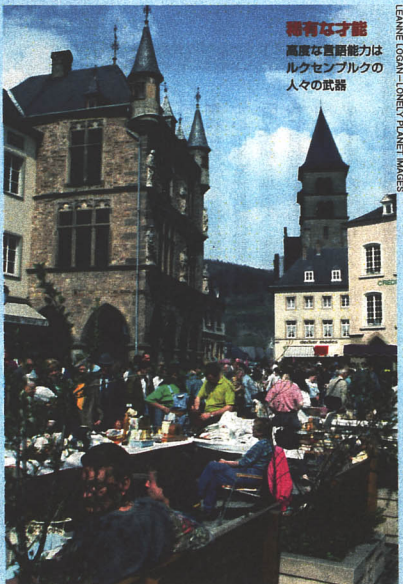
ただし、混乱する人もいる。移民労働者が多い建設現場では、三つの公用語にスペイン語とポルトガル語を織り交ぜた「チャンポン」がよく聞かれる。

高度な言語能力のおかげで、ルクセンブルクは欧州一の富裕国だ。1人当たりのGDP(国内総生産)はEU(欧州連合)

に構えている。最近、フランスとベルギーからの移民や通勤者の増加に伴い、レストランやホテルではフランス語の使用が増えている。だが今後、ドイツ語圏である東欧からの移民が増えれば、状況はまた変わるだろうとポルトンテは言う。「もう少し言葉の変化には慣れている」

言葉の面だけではない。フランスとドイツの言葉が操れるということは、両国の文化や常識、ビジネス手法にも通じていることを意味する。実際、ルクセンブルクの首相は長年、両国の仲裁役を果たしてきた。

平均の約2倍。「言葉が通じるから、世界のどこでも誰とでもビジネスができる」と、地元造船企業ルゴルクスのリュアン・シュマンは言う。しかも言語能力に関係なく人材を選べるため「最高の人材を雇える。言葉は国家や個人のアイデンティティに直結したが、ルクセンブルクの人々はだらか



LEANE LOOKING FOR FLUENT SPEAKERS
高水準な言語能力はルクセンブルクの人々の武器

の神経回路以外を除いていく。たとえば日本人の場合、母語を適切に処理する脳が完成した後には「異質な音」である英語を聞けば、日本語の音に近づけて処理してしまう。「Ca」なら、「I」の音を「to」の音に交換して「キヤット」と理解すると、酒井は言う。幼いころ複数の言語を習得した子供は、各言語向けに脳がチュー

ンアップされていることになる。だが、それらが脳の中でどう整理されているのかは、実はよくわかっていない。

たとき他の言語が眠っているわけではないらしい。「スイス人の女性とつき合ったことがあるが、彼女は一つの文の中でフランス語とドイツ語、イタリア語を使って

いた」と、トリニティ大学(ダブリン)の言語学者アービッド・シングルトンは言う。「活性レベルが違っただけで、言語のスイッチはすべて入っている」

複数の言語のスイッチが入っていると、意外なメリットもある。日常的に2カ国語以上を使っている人は何かを話すたび、頭の中で「その場に適切な言語を選び、適さない言語を抑えろ」のスイッチが適反返されている。カナダ・オンタリオ州にあるヨーク大学の心理学者エレン・ピアリストクは言う。「だから周囲の雑音を無視して、必要なものだけに集中する能力がモノリンガルより高い」

カナダでは、子供時代にバイリンガルになった人は痴呆症になりにくいとの研究結果が得られた。別の研究は、複数言語を話す子供のほうが他人のニーズを察する力に秀でていると結論づけた。目の不自由な人に道を案内する課題を

与えられたとき、モノリンガルの子供より上手に指示できたという。これは、スペインにあるバスク地方ダブリンガルは、一つの単語とそれが指す物には絶対的なつながりがあると考えがち。なとと関係があるかもしれない。バイリンガルやマルチリンガルは、単語には複眼的・比喩的な意味合いがあることを理解していると、セノスは言う。

母語との「距離」が 大きいほどむずかしい

脳の中で無意識に行われる「言語操作」を意識的にを行い、語学力アップを図っている人もいる。北京にある日中韓合併の人材育成会社で社長を務める韓金希(39)は日本語、韓国語、英語に堪能。日中韓合同の理事会では進行から通訳まで一人でこなす。

仕事で必要な語学力、とくにい



マルチリンガルは
周囲の雑音を無視し
集中する能力が
モノリンガルより
高いという研究も



学びやすい外国語はどれ？

外国語は、文法や発音などに母語と共通点があるほど学習しやすい。日本人がやさしく感じる言語とアメリカ人がやさしく感じる言語は違うわけだ。55カ国語を教えている大学書林国際語学アカデミーが約10年分の生徒のデータを分析し、日本人が学びやすい外国語をまとめたものがこれ。

難易度	日本人の場合*	アメリカ人の場合*
1	インドネシア語、韓国語、スロバキア語、マレーシア語	フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ドイツ語、スウェーデン語
2	スペイン語、ポルトガル語、トルコ語、中国語、ベトナム語	ギリシャ語、ヒンディー語、インドネシア語、マレーシア語
3	英語、フランス語、ドイツ語、ハンガリー語、タイ語	チェコ語、ハンガリー語、ロシア語、トルコ語、ベトナム語、タイ語
4	ロシア語、ポーランド語、チェコ語、アラビア語	日本語、中国語、韓国語、アラビア語

海外赴任前に語学研修を行う日本人ビジネスパーソンは多い。大学書林国際語学アカデミーによれば、初めての言語を学ぶ場合、目標とする習熟度レベルに達するまでにかかる時間は以下のとおり。

言語	目標レベル 現地で生活をするうえで、最低限学んでおきたいレベル	出張や短期滞在で、日常の簡単なコミュニケーションができるレベル	日常の表現ができ、現地で生活がスムーズに送れるレベル
スペイン語	50～60時間	120～160時間	240～300時間
フランス語	60～70時間	130～150時間	300～350時間
ドイツ語	60～70時間	130～150時間	300～350時間
ロシア語	100～120時間	180～220時間	350～400時間
インドネシア語	40～50時間	100～120時間	180～240時間
韓国語	40～50時間	100～120時間	180～240時間
中国語	50～60時間	120～160時間	240～300時間
タイ語	80～100時間	140～180時間	280～340時間

資料: DILA *DILA(国際化推進センター)が作成したTOEIC(英検同等レベル)を基準としたもの



イアン・アナセン

(49歳、通訳)

使える外国語: 英語、フランス語、イタリア語、中国語、ドイツ語、オランダ語、スペイン語、スウェーデン語、ノルウェー語

デンマーク出身のアナセンが広報担当官を務める欧州委員会は世界最多の通訳者をかかえる。通訳は6～8年ごとに新しい言語を学ぶよう奨励され、彼も10カ国語に通じている

最も使う機会が少ない英語力を維持するため、彼女は毎日によって「思考言語」を変更する。「今日は英語」と決めたら、移動時間などに朝起きてからの行動を英語で思い返したりするのだ。「とにかくどの言語も、常に意識し続けること」が大仕事だと、韓は語る。

同じマルチンガルで、韓のよるなアジア人はヨーロッパ人よりも苦勞が大きいと、ICUのクエイは言う。ヨーロッパの言語は同じ「語族」に属しているなど、似ている点が多いからだ。クエイがネット経由で行った実態調査によると、三つの言語を話すヨーロッパ人のうち、69%はすべて同じ語族の言葉を話していた(たとえば英語、ドイツ語、オランダ語は同じゲルマン語派)。

一方、アジア人回答者の51%は中国語と英語と日本語など、三つとも違う語族の言葉を話していた

外国語の制限はない年齢の制限はない

4カ国語を話すロシア出身のナターシャ・リポビッチは、「共感覚」があることが語学の勉強に役立った。共感覚とは、五感の一つが刺激されると別の感覚も伴う現象。音を聴くと味を感じたり、見たものに音が伴ったりする。彼女の場合は、どの言語のどの単語にも色やイメージが付随するという。「考ええる」という言葉を聞く

と、金属っぽい色合いが浮かぶとが、聞いていて赤いシッポがあつた。変に聞こえるかもしれないけど」

米共感覚協会のパトリシア・ダフィーは「共感覚のある人は言葉や音を学びやすいという研究もある」と語る。「単語を思い出すのに、色がいい取っかかりになる」

ヨーク大学のピアリストク率いる研究チームは03年の調査で、「外国語を学ぶのに年齢制限はない」とことを明らかにした。アメリカ以外で生まれたアメリカ市民225万人を対象に、英語力を1～5で自己診断させる項目を抽出して分析した結果、年齢との相関関係は「沈没点のないきれいな直線」だったという。「年齢より学歴が与える影響のほうがはるかに大きかった。高学歴の人ほど外国語を学びやすい」と、彼女は言う。

医学会で英語の通訳もこなしてきた横浜市立脳血管医療センターの植村研一センター長(72)は、

65歳になってからまず語学アプリを聴き続ける方法で12カ国語を学んだ。外国で研究発表するときなどに、その国の言葉を使うためだ。ある程度の語学力なら「3～4カ月の集中学習で十分可能」だと、植村は言う。

そう、語学は何歳になっても学習できるもの。英語をマスターすれば、マルチンガルへの道さえ開けるかもしれない。

ドイツ人のマーケティング・コンサルタント、インゲ・シユライレ(35)は、イタリアを旅行したときに言葉が出てこなくて困ると、まずフランス語を思い浮かべる。そして、語尾だけイタリア語風に変えるのだ。「それだいたい通じてしまう」と、彼女は笑う。

その場に応じた機転力もまた、マルチンガルに学べるコツの一つだろう。

敬出: 東京・田中真美(左)、シリアム・アンダーヒル(右)の2人、ロンドン・シニア・ハバート(右)の3人

「共感覚」の持ち主は語学の学習に有利ある単語を聞くと色やイメージが浮かんでくるという